

# 東の風



やさしく  
かしこく  
たくましく

## No.16

平成29年5月18日(木)

文責：園田

学校教育目標：心豊かに 自ら学び たくましく生きる子どもの育成

## 東小学校さくらの学校運動会

### 運動会 ここにも注目!

### 素晴らしく 美しいお手本です!



腕振りも、足もいつでも元気がみなぎってます。

赤組も負けていません。気持ちよい行進です。

走ったり、踊ったり、応援したり、係の仕事をしたり、運動会で子ども達の頑張りどころはたくさんあります。目立つ部分にはばかり目が行きがちなのですが、実はこんな部分にも大事なことが！

写真を見てください。大きく、元気良く手を振り、足を上げて行進する堂々としたこの姿。意欲がみなぎっているように感じます。

「気を付け」の姿勢。踵をつけ、つま先を開いています。(一番安定する形です。)手の指先は体の側面に沿わせ、指先までピシッと伸びています。「体育座りで話を聞く姿勢」。正しい姿勢で顔も話し手の方を向いています。この姿勢なら、目と耳と心で聴けることでしょう。

入場行進の手の振り方や足の運び。「気を付け」の姿勢の際の手の指先や足の開き方。体育座りでの話の聞き方。こんな細かなところまで、正しくできている子は、「何をしなければいけないのか。何をすればよいのか。」をよくわかっています。活動に集中し、気持ちが充実している証拠です。手を抜こうという弱い心に勝てる子どもです。

「充実し、満足できるか否かは自分次第！笑顔は自分で創るもの」ということが分かっています。そんな頑張る姿は、見ていてもとても気持ちが良いものです。自分自身が笑顔になれ、周りの人までも笑顔にしてしまいます。



指先にまで、意識が、気持ちが入っていますね(顔がなくてごめんなさい。)



かかとをつける。つま先を開く。体のすみずみまで、正しく行動する気持ちがこもっています。(顔がなくてごめんなさい。)

足を揃え、手を組み、背筋も伸ばして話し手を見えています。



運動会は、誰かがやってくれるものではありません。自分自身で、自分達で創るもの。だからこそ、自分が集中し、真剣に取り組めば取り組むほど、満足感や充実感を味わうことができます。達成感を味わうことができます。集中し、真剣に取り組むのか、いい加減で適当に取り組むのか。そこは本人次第であり本人以外の誰かが代わりにやってあげることではできません。活動に「本気」で臨むか否かは自分次第ということです。満足感、充実感、そして笑顔も自分次第。

私達の学校、この田平東小学校では、「自分で正しく考え、自分で正しく判断し、そして自分で主体的に活動できる子ども」、「本気で取り組む自立した子ども」を育てる教育を目指し、努力しています。みんな、頑張り！